

国際政治

190

移民・難民をめぐる グローバル・ポリティクス

日本国際政治学会編

序論 移民・難民をめぐるグローバル・ポリティクス	石井 由香
フランス移民管理の対外政策化とEU多層的移民ガバナンス	植村 充
移民ガバナンスにおける地域間主義の意義	中山 裕美
難民の分担をめぐる欧州諸国の世論分析	中井 遼健 武田 健
武力紛争による人の移動と難民レジームの規範	新垣 修
ミャンマーのロヒンギャ問題とASEAN	重政 公一
オーストラリアのボートピープル政策とパリ・プロセスの展開	飯笹 佐代子
ケニアにおける難民の「安全保障化」をめぐるパラドクス	杉木 明子
<hr/>	
日中戦争初期における日米関係	湯川 勇人
<hr/>	
<書評論文>	
軍政関係研究の螺旋的発展に向けて	岩坂 将充
<hr/>	
<書評>	
オリヴァー・リッチモンド著 『失敗した国家建設』	古澤 嘉朗
遠藤貢著 『崩壊国家と国際安全保障』	納家政嗣

2018年1月刊